

令和6年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価等報告書

点検・評価対象年度：令和5年度（2023年度）

令和7年2月
湯前町教育委員会

目 次

はじめに	
点検及び評価の概要について	・ ・ ・ ・ ・ P2
I 教育委員会の活動状況について	・ ・ ・ ・ ・ P4
II 教育施策の推進状況について	・ ・ ・ ・ ・ P10
1 学校教育の振興	
（1）校内研修の充実と学力向上	
（2）小中一貫教育の推進	
（3）地域とともにある学校づくり	
（4）人権教育の推進	
（5）食育の推進	
（6）学校教育施設・設備の整備	
（7）奨学金の運用状況	
2 社会教育の振興	・ ・ ・ ・ ・ P21
（1）青少年の健全育成	
（2）読書活動の推進	
（3）人権教育の推進	
（4）地域学校協働本部事業と家庭教育の推進	
（5）社会教育施設の充実	
3 社会体育の振興	・ ・ ・ ・ ・ P26
（1）スポーツ団体の充実と活性化	
（2）体育施設の整備、維持管理	
（3）湯前町スポーツ災害見舞金の運用状況	
4 文化財保護と文化振興	・ ・ ・ ・ ・ P31
（1）文化財愛護意識の向上	
（2）未指定文化財の調査	
（3）指定文化財の維持管理	
（4）文化団体の育成	
（5）湯前まんが美術館事業の充実	
III 指標の達成状況一覧	・ ・ ・ ・ ・ P36
IV 学識経験者意見	・ ・ ・ ・ ・ P39
V 資料等	・ ・ ・ ・ ・ P41

はじめに

このたび、湯前町教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第 26 条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書にまとめました。

この点検及び評価は、令和 5 年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」に関して実施したものであり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政に関する地域住民への説明責任を果たすことを目的としています。

教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、地域住民に公表することとしています。また、この点検及び評価の結果を今後の教育委員会活動や教育施策に十分に反映させることで、本町における教育施策が、地域住民の皆様方の御理解の下に、適切・円滑に推進できますよう、取組の強化を図っていきます。

点検及び評価の概要について

1 点検及び評価の対象並びに実施方法

本報告書では、「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」についての点検・評価の結果を掲載しています。このうち、「教育施策の推進状況」についての点検及び評価の実施方法は、次のとおりです。

（1）取組・事業評価

「第 6 次湯前町総合計画」に掲げられた施策を構成する主な取組・事業等について、点検及び評価を実施します。

（2）施策評価

（1）の結果を踏まえ、令和 5 年度の施策の取組状況について点検及び評価を実施します。

2 点検及び評価の方法並びに評価の観点

点検及び評価に際しては、施策の必要性や効率性、有効性や公平性といった観点から客観的な評価がなされるよう配慮しています。また、対象となる施策を構成する主な取組・事業等の推進状況についての点検及び評価を通じて、施策自体に関する点検及び評価を実施することとしています。

3 教育に関して学識経験を有する者の知見の活用について

地教行法第 26 条第 2 項が規定している「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、学識経験者からの意見書を求める方式を取っています。

なお、今回の意見書については、次の 3 名の方に執筆をお願いしました。

黒木 真也 氏 学校関係者（湯前町学校運協議会長）
苗床 由美 氏 社会教育関係者（湯前町婦人会長）（社会教育委員）
森下 一富 氏 社会体育関係者（湯前町体育協会会長）（社会教育委員）

2 教育委員会の開催状況

(1) 定例会・臨時会

開催月	会議種	区分	番号	件名
4月	定例	議案	第 15 号	令和5年度湯前町立小中学校指導の重点と重点努力事項について
		議案	第 16 号	令和5年度湯前町奨学生について
		議案	第 17 号	湯前町社会教育委員会議運営規則の一部を改正する規則について
		議案	第 18 号	湯前まんが美術館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
		報告	第 4 号	令和5年度教育課所管事業計画について
5月	定例	諮問	第 1 号	湯前まんが美術館等改修事業について
6月	定例	報告	第 5 号	令和5年度湯前中学校部活動実施状況について
		議案	第 19 号	令和5年度特別支援教育奨励費の認定について
		議案	第 20 号	令和5年度就学援助費の認定について
		議案	第 21 号	社会教育委員の委嘱について
		議案	第 22 号	公民館運営委員の委嘱について
		議案	第 23 号	美術館協議会委員の委嘱について
7月	定例	報告	第 6 号	湯前町議会令和5年第5会定例会について
		報告	第 7 号	湯前町議会令和5年第6回臨時会について
8月	定例	議案	第 26 号	令和5年度一般会計予算の9月補正予算について
		議案	第 27 号	令和5年度湯前町就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱について
9月	定例	臨時	第 25 号	教科書の採択について
		報告	第 8 号	令和5年度全国学力学習状況調査結果について
10月	定例	報告	第 9 号	湯前町議会令和5年第7回定例会結果について
		議案	第 28 号	令和5年度就学援助費の認定について
		議案	第 29 号	子供と家族が一緒に休める環境整備について
11月	定例	報告	第 10 号	湯前町議会令和5年第8回臨時会結果について
		議案	第 30 号	湯前町一般会計予算の12月補正予算について
		報告	第 11 号	湯前町奨学金・入学準備金貸付基金条例施行規則の一部を改正する規則について
12月	定例	報告	第 12 号	令和5年度湯前町学校給食費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
		議案	第 31 号	教育委員会事務事業評価員の委嘱について
1月	定例	報告	第 13 号	湯前町議会令和5年12月定例会結果について
2月	定例	議案	第 1 号	湯前町立学校職員安全衛生管理規程の制定について
		報告	第 1 号	令和6年湯前町議会臨時会結果について
		議案	第 3 号	就学援助費の認定について
		議案	第 4 号	令和6年度当初予算要求について
		議案	第 5 号	令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等報告について
3月	定例	報告	第 2 号	令和5年度熊本県学力・学習状況調査について
		同意	第 1 号	湯前町教育大綱の改訂について
		議案	第 6 号	湯前町学校運営協議会委員の委嘱について
		議案	第 7 号	湯前町スポーツ災害委員会委員の委嘱について
		議案	第 8 号	湯前町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
		議案	第 9 号	湯前町教育支援委員会委員の委嘱について
		議案	第 10 号	湯前町中央公民館長の任命について
		議案	第 11 号	就学援助費の認定について
報告	第 3 号	令和5年度湯前町スポーツ災害見舞金について		
		報告	第 4 号	湯前町議会令和5年3月定例会結果について

(2) 研修等・事業活動

- ① 研修等 **R5.8.10** 教育委員会主催教職員研修
 (郷土料理学習・教職員交流会)
- ② 事業活動 学校訪問

対象学校	実施年月日	主な内容
湯前小学校	令和5年10月26日	諸表簿点検・経営概要説明 参観授業・講評指導助言 給食試食
湯前中学校	令和5年 9月 7日	【球磨教育事務所学校訪問】 諸表簿点検・経営概要説明 参観授業・講評指導助言 給食試食

(3) 総合教育会議

開催回数 1回 開催年月日 令和5年9月28日 会場 湯前町役場応接室

出席者 湯前町長 長谷 和人
湯前町教育長 中村 富人
湯前町教育委員会委員 村井 信照
湯前町教育委員会委員 林 敦子
湯前町教育委員会委員 藤岡 祐子
湯前町教育委員会委員 堤田 秋男

委員以外の出席者

教育課長 浅田 徹
教育課主幹 山崎 祥子

議 事

- ① 教育大綱の改訂について
- ② 奨学金制度等について
- ③ 学校施設の整備について

(4) 教育委員会事務等点検・評価

開催年月日 第1回：令和6年2月15日・第2回：令和6年2月29日

点検評価員（知見を活用する学識経験者）

氏名	所属等
工藤 維春	学校関係者（湯前町学校運営協議会長）
苗床 由美	社会教育関係者（湯前町婦人会長）（社会教育委員）
森下 一富	社会体育関係者（湯前町体育協会会長）（社会教育委員）

学識経験者意見（評価対象年度：令和4年度）◎評価 □今後の方向性等 ▲課題

項目	事項	意見
学校教育の振興	小中一貫教育	◎小中一貫教育の推進は、各種行事の合同開催や交流授業は小中学生の交流相互の理解が深まり有意義である。 ◎□小中一貫教育では、小中共に積極的に取り組まれている。スムーズな小学校から中学校への移行のためにも今後学校行事や乗り入れ授業を継続していただきたい。 ◎学力向上に向けた実施状況で小中一貫教育の推進、乗り入れ授業を評価、特に中学校教諭による小学校での美術・音楽の専門学習機会を評価する。
	GIGA スクール	◎□G I G Aスクール構想の取り組みとして児童生徒へ1人1台のタブレット端末の整備は時代の流れに即応した大きな取り組みである。今後有効活用し、効果を上げて行かれることに期待したい。不登校傾向、長期病欠の児童生徒が学校外で授業を受けられるような取り組みを検討していただきたい。
	子育て支援等 学校給食	◎入学祝い金支給、修学旅行・通学費補助は保護者負担軽減のため継続していただきたい。 ◎小中学生夢創出事業は若い時期夢を持つ時期に必要な事業と評価する。 ◎□学校給食では「生きた教材」として重要な教育活動と考え、地産地消の推進と給食費支援を継続いただきたい。▲□学校給食の場を活用し色々な取組を良いと考えるが一部好き嫌いのある児童生徒があると聞き及ぶので、配慮や教える必要がある。
	その他	▲□中学校での自転車通学増は事故等の懸念もあり安全教育指導が望まれる。

項目	事項	意見
社会教育の振興	地域住民活動	▲コロナ禍、高齢化により分館活動が減少しつつあり社会教育振興に影響を及ぼしている。
	生涯学習	◎□生涯学習においては興味ある講座・やりがい・仲間づくり・健康づくりに効果があり、新しい講座の検討を含みつつ継続いただきたい。 ▲土曜、日曜の部活動が休みになり、家に閉じこもり気味の児童生徒の増加が懸念される。 □子どもたちを取り組んだ生涯学習が必要となるのと推測され、地域で育てる活動が今後望まれる。
	読書推進	□中央公民館図書室利用者で特に夏休み等は学習の場としての利用増も考えられ引き続き利用しやすいスペースづくりが求められる。 □「おはなし会」などの定期開催といった取組に親子連れの参加等が期待される。
	社会体育行事等	□コロナ後の町民体育祭やスポーツ大会等の町民参加に今後啓発を推進いただきたい。 ◎□コロナ禍でも春季球技大会が開催できた。出来るものは積極的に実施していただきたい。 ◎各分館で開催される「いきいき教室」町内事業所での体操教室は普段行わない体操を取り入れており有意義であると評価する。
社会体育の振興	B&G 関連事業 社会体育施設	◎B&G 関連事業において青少年健全育成、地域住民の理解のための「水辺の安全教室」「BG塾」等の開催を評価する。◎□B&G海洋クラブの活動は郡内の町村ではない取り組みで効果を上げている。今後更なる活性化を進めていただきたい。 ◎体育施設の整備については海洋センター体育館、テニスコート改修を評価する。 ◎B&G 海洋センター及びテニスコート改修事業による町民利活用の増が期待される。 ◎□海洋センター内トレーニングルームは個々に合わせた無理のない運動の場として利用できるため、利用者ニーズに沿った取組を進めていただきたい。

項目	事項	意見
社会体育の振興	総合運動クラブ活動 中学校部活動の地域移行	<p>◎総合運動クラブ活動は児童のスポーツのおもしろさを育み運動能力の向上に必要で有意義である。</p> <p>◎総合運動クラブは部活動の代替として体力維持、体力向上に寄与している。</p> <p>▲□総合運動クラブの指導者不足、高齢化が喫緊の課題である。40人ほどの児童を2人の指導者で見ることもある。部外の専門の指導者を更に活用する方法や新しい指導者を増やす取組を進めていただきたい。</p> <p>▲□総合運動クラブ活動を継続するためには指導するコーチが必要であり、引き続きコーチ増員の取組が必要となっている。</p> <p>▲□中学校部活動の地域移行は今後の活動の在り方など情報収集に努める必要がある。</p>
文化財保護と文化振興	文化財保存活用	<p>◎文化財保護・保存については各種施策が図られており評価する。</p> <p>◎□下里御大師堂の復元修理が無事に終わり感謝している。後世に素晴らしい文化財を残せた。今後の維持管理も継続してほしい。</p> <p>□町民に町内に残る多くの寺社仏閣を訪ねてもらう機会を更に増やし、「地域の宝」を自覚して頂きたい。</p> <p>◎▲□文化財保存活用は町全体での取組が必要となっており地域住民の理解促進も重要と考えられ、地域住民一体となった保存活用の推進を図られたい。</p>
	湯前まんが美術館	<p>◎□まんが美術館の事業は年間にわたり実施されており評価に値し、更に継続をお願いしたい。</p> <p>◎まんが美術館の町民・小中学生無料化は美術館に興味をもつきっかけとなる。</p> <p>◎まんがのまちづくりアドバイザー会議の設置など積極的な取組を評価する。</p>
総括		<p>◎教育委員会の多種多様な前向きな取り組みを評価する。</p> <p>□更に一步進めての町民サイドに立った内容になっていければと考える。</p> <p>◎教育施策の推進状況として、全体的に適切に進められていると評価する。</p> <p>◎コロナ禍の影響があった中、教育委員会事務事業、各種計画事業が済々と実行されたことを評価する。</p>

II 教育施策の推進状況について

1 学校教育の振興

学校の状況（児童・生徒数・学級編成・教職員等）

(1) 湯前小学校

教育目標：ふるさとを愛し、一人一人が輝く

徳・知・体の調和のとれた児童の育成

(小中一貫教育のため教育目標は小中学校共通)

学級編成

学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
湯前小学校	17	19	29	25	23	34		
知的3～6	自情1～3	自情4～6	弱視(5)			計	特別支援教育児童	
6	8	5	1			167	20	12.0%

児童・学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
令和4年度	児童数	20	30	21	24	34	28	27	184
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	12
令和5年度	児童数	17	19	29	25	23	34	20	167
	学級数	1	1	1	1	1	1	4	10
令和6年度	児童数	18	17	19	30	26	22	19	151
	学級数	1	1	1	1	1	1	3	9

教職員数

校長	教頭	教務主任	研究主任	事務主幹	養護教諭	栄養教諭	養職員(臨時)	学級担任	計
1	1	1	1	1	1	1	1	10	18
特別支援教育支援員		学校事務	庁務手	計	合計				
6		1	1	8	26				

(2) 湯前中学校

教育目標：ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた生徒の育成

(小中一貫教育のため教育目標は小中学校共通)

学級編成

学校	1年	2年	3年	合計	
湯前中学校	30	28	25	83	
特別支援	1	2	0	3	3.5%
計	31	30	25	86	

生徒・学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	特別支援学級	計
令和4年度	生徒数	29	25	34	5	93
	学級数	1	1	1	2	5
令和5年度	生徒数	30	28	25	3	86
	学級数	1	1	1	2	5
令和6年度	生徒数	34	30	29	6	99
	学級数	1	1	1	2	5

教職員数

校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	養護助教諭	事務職員	非常勤講師	計
1	1	9	0	1	1	1	0	14
特別支援教育支援員		適応指導教室指導員	学校事務	庁務手	ALT	計	合計	
3		1	1	1	1	7	21	

総括（令和5年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

第5章 地域をつなぐ人づくり

第1節 学校教育の振興

学校教育については、児童生徒の学力と心身の育成のための経常的な施策のほか、地域とともにある学校づくりを進めるために、地域学校協働活動の充実や湯前町学校運営協議会において学校経営方針の協議等を行いました。また、各種行事の合同開催や交流授業などにより、小中一貫教育の推進を図りました。

外国語・英語教育では、外国語指導助手派遣委託を継続し、英語教育の強化を図るため小中学校英語検定料補助を実施し延べ35名が受験をしました。

令和3年度からふるさと納税を財源とした子育て世代への支援事業を始め、小中学校新入学生の保護者48名に入学祝い金を支給し、また、修学旅行に参加した小学6年生の保護者31名、中学2年生27名に費用の定額補助を行いました。また、小中学生が一流のスポーツや文化等に触れることができる機会を設け、夢を持つきっかけづくりや将来の可能性を広げていくことにつなげるための夢創出事業として、令和5年度は平成音楽大学によるコンサートを実施しました。

また、管内の高校等に公共交通機関を利用して通学する生徒への支援として、延べ164名に通学定期券代の一部補助を行いました。

GIGA スクール構想の取り組みとして、児童生徒へ1人1台のタブレット端末の整備、各教室の電子黒板の配備や学習支援ソフトウェアを導入してのICT教育充実を図る中、小学校では学習者・指導者用タブレットの更新、中学校では学習者用タブレットの増台を行いました。

学校施設整備については、中学校グラウンド改修工事を行いました。

学校給食では、児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた安心安全でおいしい給食の提供とともに、配膳、会食、後片付けを通じた協調性や社会性の涵養、食事マナーの習得など食に関する「生きた教材」として、学校教育活動の重要な役割を担っており、令和2年度から継続して学校給食費補助を行い、2学期からは全額補助を行いました。また、地産地消推進等のために県補助事業を活用して米飯原料「びかまる」の使用、小中学校での農業生産体験活動等を実施しました。

進学意欲を有し経済的理由により就学困難な者へ、教育の機会均等に寄与するとともに有望な人材を育成することを目的として、新たに奨学金5件の貸付を行いました。

(1) 校内研修の充実と学力向上

① 校内研修の実施状況

○ 湯前小学校（「学校経営案」校内研修全体計画より）

・研修目的

教育の現場における実践的研修を相互に深め、教職員としての資質の向上に努めることによって学校教育の充実を図る。

・研修の視点

本校の学校教育目標の達成に向けて研鑽を積む研修

教職員としての視野を広げ、教育的実践力を高める研修

児童の変容を把握し、授業改善につなげる研修

学校職員が相互に協働し、適切に組織を形成しながら運営していく研修

・研修の基本方針

(1) 課題研修

全職員共通理解のもと、児童の実態から浮かび上がってくる課題を改善できるよう研究を進めていく。

研究の深まりや実践が児童に反映され、また、児童の変容によって研究・実践の結果が見て取れるよう進めていく。

(2) その他の現職研修

① 人権教育研修の推進

② 特別支援教育研修の推進

③ 道徳教育研修の推進

④ 実践研修を取り入れ、指導技能の向上を図る（情報教育等）

⑤ 保育園等、中学校等との連携を図り、研究・情報交換の場をもつ

⑥ 各種研究会の報道の機会を設け、全体に広める

・課題研修（研修主題）

自他の人権を尊重し、主体的に支えあい、励ましあう児童の育成

- ・研修計画 提案授業 1回・中研（学年単位等の研修）2回
大研（学校全体での研修）3回

○ 湯前中学校（「学校経営案」校内研修全体計画より）

・研究主題

自他の人権を大切にしている実践行動のできる生徒の育成
～「たてる・つくる・つなぐ」実践を通して～

・主題設定理由

これまでの研究から
生徒の実態から

・研修計画 テーマ研修 12 回・現職研修 17 回

・仮説

たてる（人権教育の目標達成に向けた計画の工夫）・つくる（人権学習の授業の改善）・つなぐ（学びの日常化）の 3 つの視点からアプローチを行えば、自他の人権を大切にしている実践行動のできる生徒を育成することができるであろう。

・視点

たてる…人権教育の目標達成に向けた計画の工夫（カリキュラムマネジメント）
つくる…人権学習の授業改善（自分のこととして考えさせる工夫）
つなぐ…学びの日常化（学級力向上プロジェクト、人権集会等）

（2）小中一貫教育の推進

R 5 小中一貫教育実績

- 4 月 見知り遠足・集会
- 5 月 プール掃除を小中同日に実施（小学生 5・6 年）
- 6 月 合同引き渡し訓練
- 10 月 小中学校連携研修（1・4・6 年公開授業・研究会）
中学校合唱祭参加（小学生 5・6 年）
- 11 月 合同地震避難訓練
中学校文化祭伝統芸能鑑賞
- 2 月 中学校説明会（小学生 6 年）

○乗り入れ授業

小学生6年（3日間）中学校で授業を受ける

1学期：2H、2学期：2H

小学生5年（3日間）小学校に中学校の先生が来る

1学期：1H、2学期：1H、3学期：1H

小学生5・6年（音楽）中学校に行って授業を受ける

2学期：3H

小学生5・6年（図工）小学校に中学校の先生が来る

2学期：5H

R5中止行事

乗り入れ授業（6年）3学期1H（6年生インフルエンザ罹患者多数のため）

（3）地域とともにある学校づくり

① 学校運営協議会の開催 3回

② 地域学校協働活動の実施状況 協働本部会議 2回

・事業目的

学校、家庭および地域住民相互の連携・協働を推進するため、学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業を展開し、まち全体で地域の将来を担う子供たちを育成するとともに地域コミュニティの活性化を図る。

・事業概要

地域と学校が連携・協働して、学校での学習支援や学校行事を協働で実施した。（地域学校協働本部会議 2回※うち1回は補助対象期間外・協働活動延べ開催日数：52日）

学校、家庭、地域が連携・協働しながら、地域の多様な経験や技能を持つ人材の協力により、長期休業期間中に地域未来塾を実施し、子供たちの学習意欲を高めると共に地域住民等との交流を深めた。

（地域未来塾の開催：夏季10日間・冬季6日間 計16日間）

・事業成果

子供たちと地域住民が関わる機会の増加：希望する全ての子供たちに対して学習機会や交流機会を提供することにより、多様な体験活動を実施した。

・検証方法：協働活動運営委員会と学校運営協議会が連携し評価を実施した。

令和5年度地域学校協働活動実施状況

月	日	事項	学校 担当	参加人数	協働内容	コーディネーター
						引受団体or個人
4	14	交通教室(低・中・高学年)	安全教育担当	14	指導補助と交流	多良木警察署交通安全母の会等
5	15	6年花いっぱい交流(夏花苗植え)	6年担任	35	指導補助と交流	老人クラブ
5	23	1・2年いきいき交流①	2年担任	10	指導補助と交流	老人クラブ
6	5	5年種まき	5年担任	5	種まき指導	JA青壮年部
6	15	2年生活科町たんけん	2年担任	6	引率補助	地域学校協働本部
6	22	6年租税教室	6年担任	2	講師	税務町民課
6	26	5年田植え	5年担任	15	田植え指導	JA青壮年部
6	26	4年ふれあい交流	4年担任	11	独居老人との交流	老人クラブ
8	28	5年かかしづくり	5年担任	5	かかしづくり指導	JA青壮年部
8	29	4年いきいき交流①(ダイコン植え)	4年担任	13	指導補助と交流	老人クラブ
9	1	3年いきいき交流①(人参の種まき)	3年担任	14	指導補助と交流	老人クラブ
9	8	4年まんが授業	4年担任	3	指導と交流	崇城大学芸術学部 函下助教授
10	16	5年花いっぱい交流	5年担任	31	指導補助と交流	老人クラブ
10	23	6年湯前町史跡めぐり	6年担任	4	文化財説明	教育委員会
10	27・30	6年家庭科ミシン学習	6年担任	11	指導補助と交流	地域学校協働本部
10	27	5年稲刈り	5年担任	10	稲刈り指導	JA青壮年部
11	2	地震避難訓練(小中合同)	防災主任	1	指導補助	総務課
11	8	2年生活科町探検引率	2年担任	3	引率補助	地域学校協働本部
11	9	4年緑の流域治水出前授業	4年担任	5	講師	熊本県企画振興課
11	10	4年幸野溝見学	4年担任	2	講師	水土里ネット幸野溝
11	10	5年もち米クッキング体験	5年担任	6	もち米クッキング指導	JA女性部
11	13	2年いきいき交流②	2年担任	6	指導補助と交流	老人クラブ
11	20	3年湯前町よいところさがし(秋探し)	3年担任 2年担任	7	引率補助	地域学校協働本部
11	24	4年いきいき交流②	4年担任	8	指導補助と交流	老人クラブ
12	5	3年いきいき交流②	3年担任	11	指導補助と交流	老人クラブ
12	8	5年もちつき	5年担任	3	指導補助	JA青壮年部
12	12	1年いきいき交流②(昔遊び)	1年担任	9	指導補助(昔遊び)	老人クラブ
2	6	6年記念植樹	6年担任	3	講師、指導補助	農林振興課、6年保護者
2	15	6年陶芸教室	6年担任	6	講師	老人クラブ
2	16	5年認知症サポーター養成講座	5年担任	11	講師、読み聞かせ、ファシリテーター	保健福祉課、社協、地域包括センター
				270		

年月日	活動名	主事務局	中学校						計
			学校参加者数			地域参加者数			
			教職員	生徒	小計	事務局	その他	小計	
5月2日	自転車点検	学校・協働本部	21	86	107		5	5	112
7月14日	まんが授業	教育委員会	4	86	90	2	1	3	93
7月12日	伝統芸能オリエンテーション	学校・協働本部	21	55	76		3	3	79
9月2日	PTA除草作業	その他	21	86	107		50	50	157
9月2日	地域ボランティア活動	その他	3	31	34		5	5	39
9月2日	中学校伝統芸能継承(練習)	学校・協働本部	18	55	73		10	10	83
9月15日	地域ボランティア活動	その他	3	31	34	5		5	39
10月10日	認知症サポーター養成講座	社会福祉協議会	5	30	35	5		5	40
11月11日	文化祭(伝統芸能継承)	学校・協働本部	21	55	76	1	30	31	107
12月21日	門松づくり	その他	3		3		6	6	9
2月9日	家庭科調理実習	その他	2	30	32		9	9	41
2月16日	家庭科調理実習	その他	2	30	32		7	7	39
2月21日	家庭科調理実習	その他	2	30	32		7	7	39
			126	605	731	13	133	146	877

(4) 人権教育の推進

① 人権教育推進活動の実施状況

- ・人権教育に関する研修（教職員） 小学校：20回 中学校：6回
- ・人権集会 小学校：学期に1回 計3回 中学校：1回

(5) 食育の推進

① 食育推進活動の実施状況

- ・野菜の栽培活動（小中学校）
- ・栄養教諭による食育指導（各学年）
- ・「ふるさとくまさんデー」などで地元食材を活用、地産地消を推進し、給食だよりで周知啓発した。

② 学校給食の状況

- ・給食回数 小学校：188回・中学校：187回
- ・給食費 小学校 46,200円（人／年額）・中学校 55,000円（人／年額）
- ・学校給食共同調理場運営委員会 開催回数3回
- ・学校給食補助事業

令和5年度の2学期より物価高騰対策等として給食費の無償化補助事業をはじめたが、年度途中より給食費単価の増額が必要となった。

令和5年度 学校給食会計決算書

(収 入)

(単位：円)

科 目	収 入 済 額	説 明
1. 給食費	1,677,501	1. 小学校児童分 (1学期分)
	1,038,508	1. 中学校生徒分 (1学期分)
	1,198,686	1. 小学校等職員分
	1,187,273	1. 中学校 "
	346,941	1. 調理員等
	1,134,763	1. 小学校支援分
	379,810	1. 中学校支援分
2. 繰越金	597,007	1. 前年度繰越金
3. 預金利息	20	1. 銀行等預金利息
4. 補助金	3,018,203	1. 給食費補助金 (3割補助分)
	4,944,903	1. 給食費補助金 (2学期以降保護者負担分)
	300,000	1. 給食安定供給支援事業
	1,000,000	1. 給食安定供給支援事業
6. 諸収入	23,900	1. 運営委員給食費、廃油販売代など
収 入 合 計	16,847,515	

(支 出)

(単位：円)

科 目	支 出 済 額	説 明
1. 主食費	1,304,700	1. 米・パン代
2. 副食費	11,683,753	1. おかず・デザート代
3. 牛乳費	3,194,658	1. 牛乳代
4. 返還金等	66,737	1. 補助金残額分 66,737
	660	1. 手数料 660
支 出 合 計	16,250,508	

収入合計 16,847,515 円
 支出合計 16,250,508 円
 差引残額 597,007 円 (翌年度へ繰越)

(6) 学校教育施設・設備の整備

単位：千円

事業（工事）名	事業概要	事業費
湯前中学校グラウンド改修工事 （設計費）	舗装工 10,627 m ² ほか	39,985 (2,695)

財源内訳

単位：千円

事業（工事）名	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
湯前中学校グラウンド改修事業	42,680	11,752	29,900	0	1,028

着工前



しゅん工



(7) 奨学金の運用状況

進学の意欲を有し経済的理由により就学困難な者へ、教育の機会均等に寄与するとともに有望な人材を育成することを目的として、新たに奨学金 5 件の貸付を行いました。

令和 5 年度末の奨学金基金の運用状況等は次のとおりです。

○基金の額

令和 4 年度末	免除額	取崩・繰出	令和 5 年度末
70,000,000 円	0 円	0 円	70,000,000 円

○運用状況

前年度末現金残高	39,443,942 円	①
当年度繰出額	0 円	②
当年度貸付額	4,440,000 円	③
当年度償還額	6,529,000 円	④
当年度末現金残高	41,532,942 円	⑤ (①-②-③+④)

- 《貸付の状況》 ・ 奨学金 9 人 (延べ 34 人) ・ 入学準備金 0 人
《滞納の状況》 ・ 滞納者実人員 1 人 ・ 滞納額 195,000 円
《債権管理状況》 ・ 借用証書
《運用収益状況》 ・ 基金利子を一般会計へ

2 社会教育の振興

総括（令和5年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

第2節 社会教育の振興

社会教育の振興施策については、公民分館活動の振興を通じたスポーツ活動や花づくり活動等の地域コミュニティ活性化を図るため、公民分館活動振興補助金並びに花づくり奨励金を交付し振興を図りました。また、公民分館活動の拠点である施設の充実を図るため、3分館に分館施設整備補助金を交付し整備を行いました。

令和5年度からの新規事業として、地域コミュニティ活性化事業補助金を設け、4公民分館と1団体が地域内共用施設の整備、社会教育推進活動を実施しました。生涯学習では、一般成人を対象に13講座を開設し、受講生の知識や健康増進の向上を図りました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で中止となっていた開講式や閉講式、秋の文化祭も再開することができ、学びの機会や成果発表の場を醸成し、学習意欲を高めることができました。

また、青少年を対象に1教室、家庭教育学級1教室を開催し、人づくりに努めました。青少年の健全育成では、青少年の非行や犯罪を防止するために地域の方々と連携し、B&G海洋クラブ活動等を通じて非行防止運動の啓発などに努めました。

読書活動については、図書室だよりを発行、お勧めの図書や新刊案内等を掲載し利用の増加促進を図りました。また、図書室の壁面や図書の並べ方の工夫も行いました。

人権教育では、令和5年度から新たに地域人権教育指導員を配置するとともに、町人権教育推進協議会を中心とした各種事業や図書室への人権図書コーナー設置等により教育・啓発活動を推進しました。

○生涯学習講座の受講者数と図書室の利用

教室名	受講者数	備考
生涯学習（13教室）	延 144 人	（実人数 102 人）
青少年教室（1教室）	23 人	
家庭教育学級（1教室）	25 人	
図書利用状況（人数・冊数）	654 人	1,808 冊

(1) 青少年の健全育成

青少年の健全育成に係る組織の状況

① 団体名称：湯前町青少年育成町民会議

② 設置目的

この会議は、青少年問題の重要性にかんがみ広く町民の総意を集結し、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

③ 令和5年度事業実績

期 日	事 業 名	場 所	備 考
5月22日	熊本県青少年育成県民会議総会	熊本県庁	
6月21日	湯前町青少年育成町民会議会計監査	中央公民館図書室	
6月26日	子どもと高齢者のふれあい交流会	湯前小学校	町、社会福祉協議会 中央公民館主催
7月～8月	社会を明るくする運動	町内	熊本県推進委員会主催 ・町内にPR幟設置
7月～8月	夏の青少年健全育成県民総ぐるみ運動	HP・旬報掲載	県、県青少年育成県民会議主催
9月2日	第45回「少年の主張」熊本県大会	人吉市	県、県教育委員会 県青少年育成県民会議主催
9月19日	湯前町青少年育成町民会議総会	湯前町農村環境 改善センター	
12月11日 ～1月18日	「家族の日」あったか家族コンクール		県、県教育委員会 県青少年育成県民会議主催
少年補導委員・防犯警ら隊		休み期間中の夜間パトロール	

協賛事業

期 日	事 業 名	場 所	備 考
6月～10月	B&G海洋クラブ	町内ほか	B&G主催
7月17日	水辺の安全教室	町内	B&G主催 町子ども会育成者連絡協議会共催
12月21日	家庭教育講演会	湯前中学校	町保小中連携連絡協議会主催 町PTA連絡協議会共催

(2) 読書活動の推進

① 中央公民館図書室利用状況

- ・ 図書貸出者数 R3 : 666 人 → R4 : 594 人 → R5 : 654 人
- ・ 貸出図書数 R3 : 1,855 冊 → R4 : 1,502 冊 → R5 : 1,808 冊

② ブックスタート事業実績 4回 計：親子 18組

1 日 時

第1回：令和5年5月25日（木）10：20～10：30

第2回：令和5年7月27日（木）本のプレゼントのみ

第3回：令和5年9月28日（木）10：20～10：30

第4回：令和6年1月25日（木）10：20～10：30

2 会 場 湯前町保健センター

3 対象者 親子計18組

4 内 容 ブックスタートについて
ブックスタートの効果（読むと共に楽しむの違い）
図書を通じた時間共有と読み聞かせの効果
発達段階に応じた図書とのかかわり

5 その他 配布図書「まんまんぱっ！」

(3) 人権教育の推進

人権教育の推進に係る組織の状況

① 団体名称：湯前町人権教育推進協議会

② 設置目的

本会は、湯前町内における人権教育を社会教育・学校教育・就学前教育の両面から推進することを目的とする。

③ 令和5年度事業実績

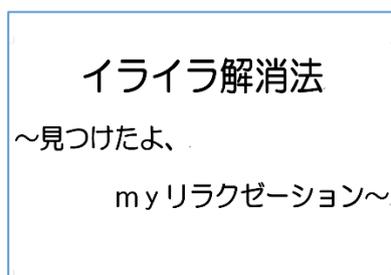
期 日	区分	事 業 名	場 所
4月18日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会第1回代表者会議	人吉市
5月10日	県	社会教育部会総会・学習会	菊池市
5月23日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会第2回代表者会議	湯前町
6月15日～16日	県	社会教育部会宿泊研修会	水俣市
6月30日	県	第1回人権行政担当者研修会	熊本市
7月4日	町	湯前町人権教育推進協議会会計監査	湯前町
7月27日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会研究大会全体会	人吉市
	上球磨	人吉球磨人権教育研究協議会研究大会分科会	水上村
7月31日	町	湯前町人権教育推進協議会総会・研修会	湯前町
9月27日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会第3回代表者会議	人吉市
10月7日～8日	県	部落解放第35回熊本県研究集会	熊本市
10月21日～22日	県	第51回熊本県人権教育研究大会	上益城地区
11月16日	町	令和5年度人権に関する町民意識調査実施検討会議	湯前町
2月7日	県	第2回人権行政担当者研修会	熊本市
社会教育部会専門委員会（年7回） 啓発事業（毎月広報掲載）			

(4) 地域学校協働本部事業と家庭教育の推進

① 地域学校協働本部事業の実施状況 P16 掲載

② 家庭教育の推進（親の学び事業の実施状況）

市町村名	就学前 実施率	保護者対象			生徒対象							
		実施 園数	／	幼 保園 数	小学校 実施率	実施 校数	／	小 学 校 数	中学校 実施率	実施 校数	／	中 学 校 数
湯前町	100 %	2	／	2	100 %	1	／	1	100 %	1	／	1



(5) 社会教育施設の充実

令和5年度は熊本地震復興基金を事業財源として、湯前まんが美術館他改修事業に着手しましたが、令和6年度へ予算繰越を行いました。

教工第4号 湯前まんが美術館他改修工事・収蔵棟他新築工事実施設計業務
事業費：18,852 千円

教工第10号 湯前まんが美術館他改修工事
事業費：24,536 千円

教工第11号 湯前町中央公民館図書交流棟新築工事
事業費：40,326 千円

3 社会体育の振興

総括（令和5年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

第3節 社会体育の振興

社会体育では、町民の健康増進、体力の保持や向上等を目的として、体育協会やスポーツ推進委員の協力により各種社会体育事業を実施しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止としてきた町民体育祭は4年ぶりの開催となりました。また、町内駅伝大会は地区への参加意向調査の結果、参加地区数の減少により中止の判断となりました。秋季球技大会として実施してきた大会は、令和5年度から「B&G 財団会長杯第59回秋季球技大会」として、フリーエントリー制の大会として開催しました。

体育協会や総合型地域スポーツクラブを活用した教室や体験会なども実施しました。体育協会の会員数は、285人となり減少傾向があるものの、総合型地域スポーツクラブ湯前さわやかクラブ「だんだん」（以下、「だんだん」）では、湯前小学校で実施している「総合運動クラブ」への参加のため児童会員の増加、会員総数は165人となり児童を中心とした運動コミュニティの活性化を図ることができました。「総合運動クラブ」は地域指導者の協力を得て週に2回放課後の時間帯に小学校体育館をメイン会場として開催され全71回開催、延べ2,711人の児童が参加しました。

スポーツコミュニティ活性化事業ではSUP ヨガ、ウォーキングイベントを実施し、子どもから高齢者までの地域住民がB&G施設や関連器材を活用し、スポーツを通じた交流について学ぶ機会の創出となりました。また、ウォーキングイベントと同時開催したスポーツ推進員によるニュースポーツ普及事業ではモルック体験会を実施しました。

地域間連携での体育事業については、奥球磨駅伝競走大会をはじめ奥球磨ロードレース大会や球磨一周駅伝大会など、球磨人吉管内市町村との連携によるスポーツ事業を開催することができました。また、（一社）熊本県自転車競技連盟が主催する自転車競技大会「ツアーオブ九州全国ジュニアステージレース」が本町を会場として開催されました。

B&G 関連事業では、海洋性レクリエーションの機会提供や、地域児童や住民を対象とした海洋クラブ活動、地域河川を利用した SUP 体験会を実施しました。また、水難事故の防止を目的に「水辺の安全教室」を上球磨消防署の協力を得て開催し、自らの命を守る自助意識の普及と海洋性レクリエーション活動の推進に努めました。

令和 4 年度からの事業繰越として実施しました町民グラウンド多目的コート改修工事が完了しました。また、町民グラウンドトイレ改修工事では和式トイレの洋式化を実施しました。

□人口に対する体育組織への加入率 11.1% (R4 : 11.2%)

(※体育協会会員及び郡民体育祭出場者+だんだん会員数/3 月末人口で算出)

(1) スポーツ団体の充実と活性化

① 総合型地域スポーツクラブ湯前さわやかクラブ

「だんだん」の定期的・継続的な活動【令和 5 年度末時点（数字）は実人数】

種目	参加者数			令和5年度
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	延べ参加者数
総合運動	44	44	45	2,555
軟式野球・野球教室	30	30	38	2,501
ソフトテニス	26	25	35	1,727
バドミントン	9	9	5	75
フットサル	18	20	28	619
トランポリン	22	20	9	120
ボウリング	7	7	7	77
歌声	5	5	6	219
バレーボール			6	393
水泳・水中運動	4	4	4	168
計	165	164	183	8,454
(実人数)	131	159	160	

② 町スポーツ推進委員の会議開催及び研修会参加

定例会議 12 回
 郡市理事会・研修会 3 回
 県研修会 なし

③ 各種大会等の開催

新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い各種大会が再開され、町民体育祭が 4 年ぶりに開催されました。

行 事 名	期 日	場 所
体育部長会	R5.4.21	中央公民館
第 58 回春季球技大会	R5.5.21	町内各会場
スポーツ推進委員・体協合同会議	R5.9.1	保健センター
B&G 財団会長杯 第 59 回秋季球技大会	R5.9.3	湯前町民グラウンド B&G 海洋センター
区長・分館長・体育部長合同会議	R5.9.13	
第 2 回奥球磨駅伝競走大会	R5.10.1	水上・湯前・多良木・あさぎり
第 65 回湯前町民体育祭	R5.10.15	
【中止】第 52 回湯前町内駅伝大会	開催なし	
第 71 回球磨一周駅伝大会	R5.12.17	人吉市スタート・フィニッシュ
第 10 回公認奥球磨ロードレース大会	R6.1.21	水上・湯前・多良木
ゆのまえ健康づくりウォーキングイベント	R6.2.24	

④ 小学校運動部活動の社会体育移行

小学校運動部活動の社会体育移行に伴い、「だんだん」を受け皿とした総合運動クラブによるコーチ部会の組織と児童への指導を実施しています。

⑤ 中学校部活動の地域移行

「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」(R4.6.6)「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(R4.12)「熊本県公立中学校の運動部活動における休日の段階的な地域移行推進計画」(R5.2)が示され、本町では地域移行に向けた調査委員会を設置し、アンケート調査や学校・保護者等との意見交換会議を開催してきましたが、令和 5 年度は地域移行検討委員会を設置し、協議を進めました。また、地域スポーツクラブ活動体制整備事業(運動部活動の地域移行に向けた実証事業)を活用し、地域移行が進む部活動もありました。

(2) 体育施設の整備、維持管理

① 整備事業

単位：千円

事業（工事）名	事業概要	事業費
湯前町民グラウンドテニスコート 改修事業	公園工事（繰越明許） フェンス設置工事	33,402 6,037
湯前町民グラウンド トイレ改修工事	排水不良改修・洋式化	950

財源内訳

単位：千円

事業（工事）名	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
湯前町民グラウンドテニスコート改修事業	6,037	0	6,000	0	37
湯前町民グラウンド トイレ改修工事	950	0	0	0	950



② 維持管理

- ・ 体育施設清掃委託
- ・ プール監視業務委託
- ・ 海洋センター管理人業務委託
- ・ 消防施設点検委託
- ・ 警備委託
- ・ 海洋センター外部清掃等委託

令和5年度 社会体育施設利用状況

(単位：人、円)

区分 月	体育館		プール		グラウンド		多目的コート		トレーニング ルーム	合計	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	人員	金額
4月	827	18,520			420	16,780			144	1,391	35,300
5月	791	19,460			481	18,260			158	1,430	37,720
6月	987	19,940	914	69,270	532	27,040	38	0	160	2,631	116,250
7月	910	22,000	2,356	167,250	456	12,260	18	2,790	181	3,921	204,300
8月	680	26,130	3,033	223,850	545	29,460	467	2,790	142	4,867	282,230
9月	867	14,360	1,031	61,180	635	45,600	329	5,270	136	2,998	126,410
10月	726	21,910			1,806	26,780	222	7,250	144	2,898	55,940
11月	873	17,710	15		641	41,340	258	11,210	157	1,944	70,260
12月	492	10,630			696	55,570	126	4,670	97	1,411	70,870
1月	643	9,680			435	6,240	111	8,600	131	1,320	24,520
2月	1,110	17,170			276	3,640	67	5,790	195	1,648	26,600
3月	661	27,070			470	21,670	332	10,740	152	1,615	59,480
計	9,567	224,580	7,349	521,550	7,393	304,640	1,968	59,110	1,797	28,074	1,109,880

(3) 湯前町スポーツ災害見舞金の運用状況

○運用状況

前年度末基金残高	17,057,382円 ①	
当年度収入額	144円 ②	預金利息
当年度支出額	86,500円 ③	見舞金5件
当年度末基金残高	16,971,026円 ④ = ①+②-③	

湯前町スポーツ災害見舞金は、スポーツ事故により、害を受けた者又はその遺族に対して見舞金を支給する制度です。町、町教育委員会、湯前町体育協会、地区・分館が主催・共催するスポーツ大会、及び町代表として参加した郡、県、全国大会の練習及び競技中、生命又は身体に障害を受けた事故の被害者又はその遺族に対して支給されます。

4 文化財保護と文化振興

総括（令和5年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

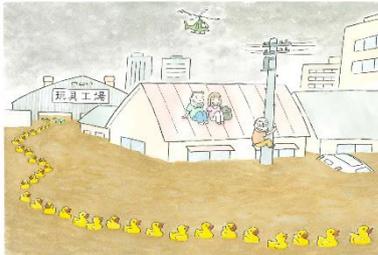
第4節 文化財保護と文化振興

文化財保護については、湯前町文化財振興補助事業により文化財保存団体の活動支援や地域の文化財施設修繕助成などを実施しました。また、指定文化財は文化財保護委員による定期的な巡回の実施により、文化財の保存に努めました。

文化財建造物の保存活用では、令和元年度から開始した下里御大師堂保存修理工事の、防災設備工事までの事業が完了し、前年度からの繰越事業で明導寺阿弥陀堂防災設備改修工事が完了しました。また、下里御大師堂周辺整備として、公園整備工事の実施設計業務が完了しましたが、公園工事及び休憩所建築工事は令和6年度へ繰越すこととなりました。

まんが美術館では、学芸員資格者1名と地域おこし協力隊2名を配置し、那須良輔作品のアーカイブ事業を継続するとともに、那須良輔作品を基調とした常設展示と外部団体と連携した「これも学習マンガだ」「妖怪パネル展」特別展を開催。また、美術館の新しい取り組みとして、展示併催の漫画家トークショー等をはじめ、熊本県主催の声優イベント、まんがフェスタも本格再開し、公立美術館連携助成事業、関係人口創出事業、美術館改修等事業にも着手し、令和7年度のくま鉄全線運航再開に向けての取り組みを進めています。また、「まんがのまちづくりアドバイザー会議」有識者の助言をいただきながら、那須良輔作品を他地域で展示普及する出前まんが美術館、地域住民を対象とした美術館での体験型講座等の事業を実施しました。

第32回を数えた風刺漫画大賞では441点の応募があり、「物価高騰」や「猛暑」、「AI」「VR」「スマホ依存」、「マイナンバーカード」「多様性」などをテーマにした時世を表す多くの作品が集まり、表彰式は4年ぶりの通常開催となった漫画フェスタで実施しました。



(1) 文化財愛護意識の向上

令和4年度の湯前町街づくりアンケートでの「文化財行政・文化財の保存活用に対する住民満足度（満足＋どちらかといえば満足）」は43%でした。

（令和5年度の同アンケート調査はありませんでした）

(2) 未指定文化財の調査

令和5年度未指定文化財の調査事業は特に実施しませんでした。

(3) 指定文化財の維持管理

① 湯前町文化財保護委員会を3回開催し、文化財施設パトロール及び指定文化財に係る修理事業等の調査協議を実施しました。

② 指定文化財の修理・維持管理事業

単位：千円

事業（工事）名	事業概要	事業費
下里御大師堂解体保存修理事業	防災設備工事（R5 繰越明許）	15,550
明導阿弥陀堂防災設備改修工事	消防ポンプ（R5 繰越明許）	4,920
下里御大師堂周辺整備事業	公園休憩所・公園工事設計	4,587
湯前町文化財振興補助事業	施設維持管理・地域行事 民俗文化財継承活動・協議会活動	1,951

単位：千円

事業（工事）名	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
下里御大師堂解体保存修理事業	15,550	7,775	7,700	0	75
明導阿弥陀堂防災設備改修工事	4,920	0	0	0	4,920
下里御大師堂周辺整備事業	4,587	2,293	2,200	0	94

(5) 湯前まんが美術館事業の充実

① 美術館事業等

ウィズコロナに移行し美術館は通年開館となり、学芸員 1 名、地域おこし協力隊 2 名を主体とし、那須作品を中心とした常設展示、特別展「これも学習マンガだ」「妖怪パネル展」を開催しました。また、協力隊が主体となって美術館ワークショップ、SNS 活用での情報発信といった新事業を試行しています。

美術館の新しい取り組みとして、展示併催の漫画家トークショー等をはじめ、熊本県主催の声優イベント、まんがフェスタも本格再開し、公立美術館連携助成事業、関係人口創出事業、美術館改修等事業にも着手し、令和 7 年度のくま川鉄道全線運航再開に向けての取り組みを進めています。

○令和 5 年度湯前まんが美術館利用状況

(単位：人・円)

区分	観覧者数						観覧料		
	月	大人	小人	団体	免除	町民	計	令和 5 年度	令和 4 年度
4 月	89	14	0	27	12	142	28,100	22,200	0
5 月	163	22	12	29	5	231	53,620	60,910	0
6 月	107	7	0	41	2	157	32,800	29,360	0
7 月	107	12	0	41	32	192	33,300	27,700	0
8 月	268	73	0	62	49	452	87,700	81,300	0
9 月	135	15	0	14	49	213	42,000	42,600	0
10 月	122	17	16	24	7	186	41,660	36,100	29,100
11 月	361	51	0	90	22	524	113,400	23,900	36,700
12 月	43	11	0	105	0	159	14,000	24,050	29,000
1 月	103	18	0	44	2	167	32,700	35,900	0
2 月	107	17	0	74	5	203	33,800	17,900	0
3 月	153	16	0	5	2	176	47,500	43,600	0
合計	1,758	273	28	556	187	2,802	560,580	445,520	94,800
イベント 賞品			86			86	16,240	22,470	0
総合計	1,758	273	114	556	187	2,888	576,820	467,990	94,800

○主な事業費明細

(単位：千円)

区分	事業名	事業費	事業費の財源内訳			
			特定財源			一般財源
			国庫支出金	地方債	その他	
学校教育	地域と学校の連携・協働体制構築事業	433	282	0	0	151
	小中学生英語検定補助事業	127	10	0	0	117
	小中学生入学祝金	780	0	0	0	780
	小中学生修学旅行補助事業	850	0	0	0	850
	学校給食費補助事業	9,196	1,233	0	0	7,963
	高等学校等通学費補助事業	1,728	0	0	0	1,728
	特別支援教育就学奨励費補助事業	596	282	0	0	314
	低学年わくわく学習支援員配置事業	4,093	1,464	0	0	2,629
	中学校グラウンド改修事業	42,680	11,752	29,900	0	1,028
	小計	60,483	15,023	29,900	0	15,560
社会教育	分館施設及び活動振興事業	2,150	0	0	0	2,150
	生涯学習事業	1,970	0	0	0	1,970
	青少年健全育成事業	180	0	0	0	180
	地域コミュニティ活性化事業	435	0	0	0	435
	地域人権教育指導員設置費補助事業	2,344	928	0	944	472
	社会教育施設整備事業（美術館・公民館改修他）	4,100	0	0	0	4,100
	小計	11,179	928	0	944	9,307
体社会	社会体育振興事業	4,759	0	0	0	4,759
	各種大会負担金（奥球磨大会・自転車競技大会）	6,091	0	0	0	6,091
	町民グラウンド多目的コートフェンス設置事業	6,037	0	6,000	0	37
	町民グラウンドトイレ改修事業	950	0	0	0	950
	小計	17,837	0	6,000	0	11,837
文化財保護と文化振興	下里御大師堂保存修理事業	15,550	7,775	7,700	0	75
	下里御大師堂周辺整備事業	4,587	2,293	2,200	0	94
	明導阿弥陀堂防災設備改修事業	4,920	0	0	0	4,920
	地域文化財振興補助事業	1,951	0	0	0	1,951
	まんが美術館関連事業（学習マンガ購入他）	3,300	0	0	3,300	0
	小計	30,308	10,068	9,900	3,300	7,040

Ⅲ 指標の達成状況一覧

1 学校教育の振興

■目標値

(令和2年度以下同)

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
小中一貫教育に対する保護者の満足度 (第二期総合戦略より)	—	75% (令和6年度目標値)
地域学校協働活動参加者数	—	600人 (令和6年度目標値)

令和5年度の状況

■小中一貫教育に対する保護者の満足度 79.1%

■地域学校協働活動参加者数 (児童生徒教職員を除く地域住民等) 延べ490人

2 社会教育の振興

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
生涯学習講座の参加者数	185人	245人
図書館利用者数	837人	1,500人

令和5年度の状況

■生涯学習講座の参加者数 延べ144人

■図書館利用者数 654人

3 社会体育の振興

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
人口に対するスポーツ団体への加入率	15%	17%

令和5年度の状況

■人口に対するスポーツ団体への加入率 11.1%

4 文化財保護と文化振興

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状	令和5年度目標値
湯前まんが美術館の入館者数	2,793人	5,300人
文化財行政・文化財の保存活用 に対する住民満足度 ※ (満足+どちらかといえば満足)	25%	35%

※湯前町まちづくりアンケートより

令和5年度の状況

■湯前まんが美術館の入館者数 2,888人

■文化財行政の住民満足度 調査なし

総合計画検証資料

第5章 地域をつなぐ人づくり

判定

A…76～100%以上 B…51～75% C…26～50% D…0～25%

将来の姿を現す指標		基準値	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	目標値	進捗率	判定
学校教育の振興	小中一貫教育に対する保護者の満足度	—	74.0%	78.7%	79.1%	75.0%	105.5%	A
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	近年できていなかった交流を再開することができたり、新しい行事（合同合唱祭等）が始まるなど、多くの保護者が肯定的な意見であった。今後も引き続き学校のお便りやホームページ、町の広報等を活用し、保護者・住民へ取組みの周知を行っていく。						
	地域学校共働活動参加者数	—	709人	902人	490人	600人	81.6%	A
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	学校へ地域の方の支援が広がり、子供たちへのより良い体制作りが確立しつつある。広報等を活用し、地域への周知を行い新たな協力者の参加を募る。						
社会教育の振興	生涯学習講座の参加者数	185人	128人	153人	144人	245人	58.8%	B
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	生涯学習の講座種・受講者が固定化・縮小しているため、特別講座を開催し、新たな生涯学習機会の拡充を図る。						
	図書館利用者数	837人	666人	594人	654人	1,500人	43.6%	C
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	中央公民棟内図書室利用者は図書貸出利用者数で算定。（町内523人・町外131人）町内公共施設や周辺図書館へ情報公開を行い利用促進と登録者の増加を図る。						
社会体育の振興	人口に対するスポーツ団体への加入率	15.0%	13.5%	11.2%	11.1%	17%	65.3%	B
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	総合型地域スポーツクラブは子どもから高齢者までそれぞれの志向に合わせて多種目のスポーツに参加でき、クラブ会員数も微増している。一方体育協会の加入者は年々減少していることから、協会の目的や活動状況など住民へ周知するための広報活動の支援を行っていく。						
文化財保護と文化振興	湯前まんが美術館の入館者数	2,793人	712人	2,477人	2802人	5,300人	52.8%	B
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	地域おこし協力隊の協力により、自館展示だけでなく、出前展示を行い、多くの方に那須良輔作品を観てもうことができ、入館者の回復が見られた。また令和5年度より湯前町民を入館無料にしたが、思うように伸びていない。今後も、出前まんが美術館などを通じて、那須良輔や湯前まんが美術館の知名度向上を図るとともに、美術館の改修を行い、町民に親しまれる美術館づくりを進めていく。						
	文化財行政・文化財保存活用に対する住民満足度	25%	—	—	43%	35%	123.0%	A
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	熊本県指定重要文化財下里御大師堂の保存修理工事が令和5年度に完了し、また町指定文化財下町橋の修繕工事にも着手した。この他、湯前町文化財振興補助金により住民とともに文化財保護を推進しており、今後も取組を充実させていく。また未指定文化財の調査を進めていくことが今後の課題となっている。						

IV 学識経験者意見

※ ◎評価 ■今後の方向性等 ▲課題

項目	事項	意見
学校教育の振興	小中一貫教育 地域と共にある学校づくり	<p>◎■小中一貫教育においては、各種行事の合同開催や交流授業など積極的に取り組まれており小中学生相互の理解が深まり有意義であり、特に小学校から中学校へのスムーズな移行が図られるものと考えられる。交流活動も充実し、交流授業や乗り入れ授業により、学力向上の上でも学ぶ楽しさ、意欲につながると評価できる。今後も小中一貫教育の充実を図り、その取り組みと併せた地域と共にある学校づくりを継続頂きたい。</p> <p>▲例えば、毎年学校では、保護者、子ども達で運動場等の除草作業を行っているが、参加者だけでは作業が進まないといった課題もあるので、地域と共にある学校づくりとして、地域住民が各種作業等に参画することを検討頂きたい。</p>
	GIGA スクール	<p>◎GIGA スクール構想の取り組みとして、児童生徒一人一台タブレット端末の整備、各教室の電子黒板の配備や学習支援ソフトウェア導入しての ICT 教育の充実を図り、不登校の児童生徒に対しオンライン事業がされている。授業中は先生の管理のもと、児童生徒の活用内容が把握できている様子が窺え、ICT 機器の活用でより分かりやすく授業が進められていると評価できる。</p> <p>▲■課題としてスクリーンタイムの増加による視力低下などが懸念される、今後も適切な利用についての指導を継続頂きたい。また、充実した機器の更新拡充を図ると共に、次回更新時の端末 OS の統一を検討頂きたい。</p>
	夢創出事業	<p>◎■夢創出事業は一流のスポーツや文化等に若い時期に触れる経験をするのは非常に大切なことであり、子ども達の将来の可能性・夢を広げていく大変重要な事業と考えられるので継続頂きたい。</p>
	子育て世代の支援	<p>◎子育て世代への支援事業の各種補助等は、保護者の負担軽減が図られており評価できる。</p>
	学校施設整備	<p>◎学校施設整備の中学校グラウンド改修工事は、運動環境の充実を図るため有意義であると評価できる。</p>
	学校給食 食育事業の推進	<p>◎■湯前町の学校給食は人吉球磨の学校においても「おいしい!!」と評価の高い給食となっている。学校給食における食の教育では、貴重な心身の健全な発達のため、特に必要であると共に、小中学校での農業生産体験活動等を通じて、食に関心を持つ取り組みとして継続頂きたい。また、給食費の無償化を図られ、物価高騰の中、財政面で厳しい面もあると推察するが、地元食材の活用を継続・拡充頂きたい。</p>

<p>社会教育の振興</p>	<p>公民分館活動の振興</p> <p>生涯学習</p> <p>読書活動の推進 社会教育施策の充実</p>	<p>◎■コロナ禍、高齢者による分館活動が減少傾向にあった。公民分館活動を通じた地域コミュニティの活性化を図ることにより、地域住民の助け合い、仲間づくり、各種連携を醸成するのに効果的であり各分館の活性化施策を図る必要がある。また、地域での活動を通じた体力向上、健康維持や生きがいがづくりに今後も努めて頂きたい。</p> <p>◎■生涯学習は13講座が開設されており、生き生きと楽しく受講されていると評価できる。特に高齢の方、一人暮らしの方々の生きがいにもなっており、知識、やりがい、仲間づくり、健康づくりに効果がありと推察される、今後も新しい講座の導入検討を含め継続拡充を頂きたい。</p> <p>◎■ブックスタート事業は、本に親しむきっかけや図書の情報発・読書支援としての役割があり、親子連れの参加者の増加を図る等積極的に取り組みを進めて頂きたい。また、まんが美術館他改修事業が進められており、今後のまんが美術館周辺施設の充実も図られており美術館・図書交流棟の利用者増が期待される。</p>
<p>社会体育の振興</p>	<p>各種競技大会 総合運動クラブ スポーツ活性化事業 B&G 関連事業 体育施設の整備</p>	<p>◎▲■町内駅伝大会は、参加地区数の減少により中止となったが、秋季球技大会は「B&G 財団会長杯」として開催されている、中止となった大会は別の種目として代替し町民の活躍する機会を醸成する必要がある。総合運動クラブの児童会員の増加は非常によい傾向であるが、指導者不足については早急に対策を行う必要がある。</p> <p>また、学校での部活動が社会体育へ移行していく中、総合型運動クラブ「だんだん」に参加している子ども達の体力が向上しているのか検証を行っていく必要も考えられる。</p> <p>海洋センタートレーニングルームの活用について、利用者は自分のペースで体力向上に努めていると推察される。個々の体力づくりの場としての利用者ニーズに沿った取り組み、トレーニング機材の拡充ニーズもあるので対応を頂きたい。</p>
<p>文化財保護と文化振興</p>	<p>文化財の保存活用</p> <p>まんが美術館事業</p>	<p>■町内には文化財建造物が多く存在しており計画的に保存修理が実施されており、今後も継続して実施いただきたい。下里御大師堂保存修理事業が完了したが、町全体の文化財に対して各地域での取り組みがなされていることも踏まえ、「町の宝物」を感心されるような PR の取り組みを頂きたい。</p> <p>◎■まんが美術館の事業については、様々な取り組みを行っていると共に新規の取り組みとして開催した展示併催の漫画家トークショー、声優イベントは盛況であり、新規取り組みの実践導入は評価される。地域おこし協力隊が主体となったワークショップ、SNS を活用した情報発信、イベント等の新しい取り組みがなされ、観覧者数も増となっており、今後も「まんがの町」として新しい企画等を期待する。</p> <p>▲その反面、美術館という硬いイメージの意見もあるので、シビックプライドに繋がるような取り組みの必要性がある。</p>
<p>総括</p>	<p>教育委員会事務事業は、多種多様な業務を前向き且つ計画的に取り組みが実行されていると評価する。特に教育振興では、子ども達の教育に適した環境づくりが重要であり、関係機関並びに地域全体で育てていくという意識を広げていく必要があると考えられるので、今後も各教育施策の推進として、全体的・適切に事務事業を進めて頂きたい。</p>	

V 資料等

教育費決算額の対前年推移

単位:千円

教育費			項	目			
R4(決算)	R5(決算)	対前年		R4(決算)	R5(決算)	対前年	
371,774	364,211	-7,563	教育総務費	教育委員会費	543	623	79
				事務局費	44,165	45,649	1,483
				学校施設整備費	2,948	42,680	39,732
			小学校費	学校管理費	41,012	42,440	1,428
				教育振興費	2,211	1,871	▲ 339
			中学校費	学校管理費	42,038	34,960	▲ 7,078
				教育振興費	1,374	1,116	▲ 257
			社会教育費	社会教育総務費	18,855	27,384	8,529
				公民館費	11,649	11,625	▲ 25
				文化財保護費	84,932	28,838	▲ 56,094
			保健体育費	美術館費	18,978	20,597	1,619
				保健体育総務費	24,312	26,925	2,613
				体育施設費	46,570	42,148	▲ 4,422
						給食費	32,187



教育費につきましては、予算現額 4 億 8,619 万 4 千円に対し、3 億 6,421 万 1,228 円を支出しました。また、年度内完了が困難であるため、項 4 社会教育費・目 1 社会教育総務費において、美術館改修等の社会教育施設整備事業費 8,090 万円、目 3 文化財保護費において、下里御大師堂周辺整備事業 3,190 万円の合計 1 億 1,280 万円を繰越しております。そのため、執行率は 74.9%、歳出総額に占める割合は、8.17%となりました。

歳出合計は、令和 4 年度に対し 756 万 2,850 円の減となりました。

その主な要因は、学校施設整備費で中学校グラウンド改修事業 39,732 千円の増加がありました。また、中学校費で修繕料と ICT 機器関連使用料などが減少し、対前年 7,078 千円の減、文化財保護費で下里御大師堂関係事業の対前年減 56,094 千円、保健体育費での施設整備事業費 4,422 千円の対前年減などとなります。

1 教育総務費 対前年：41,295 千円

(1) 教育委員会費

教育委員会費は対前年で 79 千円の増、教育委員会臨時会の開催と球磨郡町村教育委員会連絡協議会負担金増 21,135 円（人球人権協負担金分）が主な増の事由。

(2) 事務局費

事務局費は対前年で 1,483 千円の増。人件費の増が主な事由で、新規事業の物価高騰に伴う教育費補助金 560 千円が純増。

(3) 学校施設整備費

令和 4 年度決算では、中学校での自転車駐輪場整備 2,948 千円のみであったが、令和 5 年度は中学校グラウンド改修工事関係で 42,680 千円を支出したため対前年で 39,732 千円の増となりました。

単位：千円

項	対前年			目	対前年		
	R4(決算)	R5(決算)	対前年		R4(決算)	R5(決算)	対前年
教育総務費	47,657	88,952	41,295	教育委員会費	543	623	79
				事務局費	44,165	45,649	1,483
				学校施設整備費	2,948	42,680	39,732

2 小学校費 対前年：1,089 千円

項	対前年			目	対前年		
	R4(決算)	R5(決算)	対前年		R4(決算)	R5(決算)	対前年
小学校費	43,223	44,312	1,089	学校管理費(小)	41,012	42,440	1,428
				教育振興費	2,211	1,871	▲ 339

小学校費では、会計年度任用職員 8 名の人件費増 2,050 千円、委託料で令和 4 年度はコロナ対策の修学旅行バス増台と高木剪定業務があったため、対前年で▲748 千円の減、使用料及び賃借料で ICT 関連機器分が増加し 2,066 千円の増、備品購入で対前年▲2,156 千円の減があり、総体的に対前年で 1,428 千円の増となりました。

教育振興費では、準要保護、特別支援教育奨励費の対象児童数が減少したため、対前年で▲339 千円の減となりました。

3 中学校費 対前年：▲7,335 千円

項	対前年			目	対前年		
	R4(決算)	R5(決算)	対前年		R4(決算)	R5(決算)	対前年
中学校費	43,411	36,076	-7,335	学校管理費(中)	42,038	34,960	▲ 7,078
				教育振興費	1,374	1,116	▲ 257

中学校費では、会計年度任用職員 5 名の人件費増 518 千円、需用費のうち修繕料が対前年で▲2,753 千円の減（令和 4 年度は運動場ナイター施設や台風 14 号被害により修繕料 3,299 千円）、使用料及び賃借料で ICT 機器関連が対前年で▲4,287 千円、備品購入費で▲1,012 千円の減があり、総体的に対前年で▲7,078 千円の減となりました。

教育振興費も扶助費対象生徒数が減少し、対前年で▲257 千円となりました。

4 社会教育費 対前年：▲45,970千円

項	R4(決算)			目	R4(決算)		
	R4(決算)	R5(決算)	対前年		R4(決算)	R5(決算)	対前年
社会教育費	134,415	88,444	-45,970	社会教育総務費	18,855	27,384	8,529
				公民館費	11,649	11,625	▲25
				文化財保護費	84,932	28,838	▲56,094
				美術館費	18,978	20,597	1,619

(1) 社会教育総務費

社会教育総務費では、会計年度任用職員1名の増、人事異動に伴う人件費の増で対前年6,325千円の増、社会教育施設整備事業設計監理業務委託料の前払分4,100千円及び令和5年度からの新規事業地域コミュニティ活性化事業補助金435千円が純増となり、総額で8,529千円の増となりました。

(2) 公民館費

公民館費では、公民分館長謝金対前年で▲150千円の減、需用費で光熱水費と修繕料等対前年で726千円の増、公民分館施設整備補助金で対前年▲748千円の減となり、総額で25千円の増となりました。

(3) 文化財保護費

文化財保護費では、下里御大師堂保存修理事業が完了し、現年度予算で対前年▲6,469千円の減、繰越明許も対前年で▲49,625千円の減となり、総額で▲56,094千円の減となりました。

(4) 美術館費

美術館費では、マンガフェスタの本格再開に伴い報償費で漫画家イベント謝金等対前年1,357千円の増、寄付金を財源として備品購入費で学習漫画全250作品3,700冊余りの購入費2,999千円が純増、需用費、委託料等の対前年減もあったが、総体的に美術館費は対前年で1,619千円の増となりました。

5 保健体育費 対前年：3,359千円

項	R4(決算)			目	R4(決算)		
	R4(決算)	R5(決算)	対前年		R4(決算)	R5(決算)	対前年
保健体育費	103,069	106,428	3,359	保健体育総務費	24,312	26,925	2,613
				体育施設費	46,570	42,148	▲4,422
				給食費	32,187	37,355	5,168

(1) 保健体育総務費

保健体育総務費では、人件費の増に加えスポーツ教室委託料及びスポーツコミュニティ活性化事業委託料で対前年856千円の増、負担金補助及び交付金で公認奥球磨ロードレース大会負担金と奥球磨駅伝競走大会の負担金合わせて568千円の増があり、総額で対前年2,613千円の増となりました。

(2) 体育施設費

体育施設費では、委託料で社会体育施設総合整備事業改修工事設計監理業務委託料など対前年▲2,700千円の減、同事業の工事請負費で対前年▲15,126千円の減、繰越明許で工事費21,002千円を支出したため、総体的に対前年で▲4,422千円の減となりました。

(3) 給食費

給食費では、需用費で光熱水費と修繕料など対前年1,292千円の増、役務費・委託料で対前年▲512千円の減、工事請負費は対象工事がなく対前年で▲1,524千円の純減、原材料費で県補助事業を活用して学校給食用米（ぴかまる）の提供回数を倍増し対前年284千円の増、また、2学期からの給食費無償化に取り組み、負担金補助及び交付金で対前年5,701千円の増となったため、総体的に対前年で5,168千円の増となりました。